

農協だより

2020. 2月
No.584

た い し き

大樹町農民協議会
役員視察研修
4ページ～



大樹町乳牛改良同志会
家族親睦会
5ページ～

営農の取組説明会

青年部・女性部・後継者を対象に開催

12月18日、J A会議室において、J A青年部及び女性部、農業後継者を対象とした「令和2年度営農の取組説明会」を開催した。

当日は、青年部員・女性部員・農業後継者合わせて16名が参加、J Aからは常勤、参事、各部長が出席した。

開催にあたり坂井組合長から「本年は春先の干ばつ、6月からの低温、7月後半からは天候、気温の変化が激しい年となりました。しかしながら、台風などの大きな自然災害もなく全ての作物を収穫することができました。自然条件が厳しい中でも農業生産がプラスになっているのは、生産現場の日々の努力の賜物と心から感謝申し上げます。本日は若い後継者、家庭を守る女性の方と、5年先、10年先の地域農業を想定しながら議論を行い、今後の大樹町農業を作る大切な機会とした」と挨拶。

その後、各部長より「令和2年度営農の取組」の説明があり、参加者からは、質問や要望など活発な意見が出され、有意義な時間となった。

説明を聞く参加者



説明を聞く参加者

常勤・非常勤理事との意見交換会

青年部・女性部を対象に開催

12月18日、J A大樹町会議室において、J A青年部及び女性部を対象とした「常勤・非常勤理事との意見交換会」を開催した。

当日は、青年部員・女性部員併せて19名が参加、J Aからは常勤・非常勤理事の9名が出席した。例年は常勤理事での対応であったが、青年部や女性部の意見を広く理事会にも反映させることなどを目的に初めて非常勤理事も含めた形での開催となった。

開催にあたり坂井組合長は「青年部には生産現場の第一人者としての活躍、次代を担う経営者、組織活動を通じて組織の運営や人間関係の付き合い方を学び、将来の大樹町農協を背負う運営者となってほしい。女性部には健康管理、子育て、地域での潤滑油の役割を担っていただき、農場を守るパートナーとしても活躍していただいていることに感謝申し上げます。本日の意見交換会を通じ、組織活動の支援をしていきたい」と挨拶。

その後、経営継承についての勉強機会の提供や組織活動を行う中での課題についてなど様々な意見交換が行なわれた。



様々な意見が出された意見交換会

第6回

農業塾2019

「土地（農地）の仕組みと使用目的」と「海外研修事前学習」

12月3日、J A大樹町において、13名の受講生が出席の下、第6回農業塾を行った。

午前の部は、大樹町農業委員会職員を講師に「土地（農地）の仕組みと使用目的」をテーマとした講義を行った。

農地転用制度の概要や許可基準について説明があり、優良農地の確保のため農地法や農業振興地域の整備に関する法律、土地改良法があることを学び、転用規制により農業生産力の維持と農業経営の安定が図られていることを知った。

午後の部では、農協観光の宮越課長に依頼し、2月より実施する海外研修の事前学習を行った。研修では大規模牧場やフルーツ農場など6カ所を視察し勉強する予定。ニュージーランドは環境保護に力を入れており、靴についた土も持ち込み禁止品目に含まれているなどの注意点を聞いた。

また、農業塾は3年計画で実施されており、海外研修後は2月に卒業式を行い一区切りを迎える予定。



大樹町農業委員会による講義



宮越課長による説明のようす



グループワークの様子



笑いヨガで健康に！



参加者の様子



完成した料理を囲んで♪

女性部

SDGs研修会、笑いヨガ体験

— J A 十勝地区女性協議会研修会 —

12月11日、12日の両日、

十勝幕別温泉グランヴィリオホテルにおいて、「J A 十勝地区女性協議会研修会」が開催された。

この研修会は、J A 十勝地区女性協議会が主催で毎年この時期に開催されており、十勝管内女性部員と関係機関合わせて217名が参加。当J A 女性部からも

役員7名が参加した。

初日は、「私たちの手で女性組織活性化」新3か年計画とSDGsから考える「」をテーマに、J A 全中青年女性対策課長の白井稔氏が講演を行った。

続いて講演内容をふまえて、「SDGsの実現に向けた取組に係る意見交換会」をテーマに、グループワーク

形式で与えられたテーマについて積極的に話し合った。

2日目は、「次代につながる協同活動の価値向上に向けて」をテーマに、J A 北海道中央会帯広支所の沼田光弘支所長が講演。講演の最後には、有害鳥獣駆除取組についての話題提供もあった。その後、「体験 笑いヨガ」では、帯広NPO28サポー

トセンター顧問の千葉養子氏を講師に、笑いヨガ体験も行なった。

会場後方では、各単組より持ち寄られた様々な手作り作品の展示会も行われ、手の込んだ見事な作品の数々に見学の山ができていた。また、初日の夜には参加者全員で懇親会も行われ、他J A の女性部員と交流を深めた。また、懇親会では、担当J A によるステージ発表が行なわれ、会場を盛り上げていた。

すずらん会

乳製品簡単料理！

— 料理講習会 —

12月16日、大樹町生涯学習センターにおいて、料理講習会（地域牛乳乳製品需要拡大事業）を行ない、会員6名が参加した。

講習では、「カレードリア」、「チーズフォンデュ」、「チーズエビアボカドサラダ」、「フルーツヨーグルト」の4品を調理。少ない人数ではあったが、協力し合いながら手際よく料理を作り上げ、完成した料理でランチタイム。日常の仕事や子育てなどの会話に盛り上がり、美味しい料理を食べながら楽しい一時を過ごした。

「一日ホクレン」

ホクレン帯広支所が事業概要説明・意見交換

11月18日、JA大樹町会議室において、JA役職員や青年部、女性部、各生産部会の代表等29名が出席し、「一日ホクレン」が開催された。この「一日ホクレン」には、支所長を始め、各課の管理職14名を含む16名が訪れ、経済事業に関わる課題解決に向けた意見交換が行われた。

ホクレン帯広支所五藤一彦支所長が「生産者組織の代表者から直接お話しを聞ける貴重な場で、様々な意見を頂き、課題を整理しながら組合員の目標達成の支援ができるよう責務を果たしていきたい」と挨拶。坂井組合長は「生産資材の安定供給と生産物を一手に引き受け販売する系統組織の役割と成果を認識している。本日は、様々な角度から意見交換し、機能をより良いものにして組合員個々の経営改善やゆとりの創出に向け協力していきたい」と挨拶した。

その後は、ホクレン担当者による事業の概況や品目情勢などの説明があった。JA側からは営農支援課題、生産資材の状況などの意見や質問が出され、有意義な意見交換となった。



意見交換のようす

畑作3部会合同研修

畑作プリンデ生産者サミットに参加

11月26日から27日の日程で、部会員及び関係機関合わせて13名が参加する中、畑作3部会（園芸部会、種子生産部会、畑作部会）合同研修を実施し、アパホテル帯広駅前で開催された「2019畑作プリンデ生産者サミット」に参加した。

研修会を主催したプリンデクラブとは、シンジェンタジャパン札幌支店が畑作生産者と意見交換し、既存商品・新商品を一緒に試験する組織で、約600名の会員が在籍している。また、生産者サミットを毎年11月から12月に帯広市と北見市で開催し、栽培全般に関する講演、農薬の紹介の他、意見交換会を行っている。

今年度は馬鈴薯栽培におけるインファロー（植溝内土壌散布）技術について研修があり、アクタラ顆粒水溶剤・アミスター20フロアブルについての効果や経費等について説明があった。インファロー技術により黒あざ病防除だけでなく、作物の見た目や収量に効果があり、次年度はJA大樹町の種子馬鈴薯生産者全員が導入する予定になっている。



研修会場のようす

（株）アサヒ金物 よつば乳業株式会社を視察

大樹町農民協議会役員視察研修

大樹町農民協議会（水 downstream 英治会長）では、12月11日に役員5名が参加する中、役員視察研修を行った。

初めに芽室町の株式会社大野ファームで昼食をとった。大野ファームは畜産農家を身近に感じてもらいたいという思いから敷地内にカフェを併設し、自ら生産した安全で安心な牛肉や地域の野菜を使った料理を提供。参加者は洗練された空間で、おいしい牛肉を楽しんだ。

次に視察した株式会社アサヒ金物は、屋根材や外壁材を取り扱う会社で、町内の多くの牛舎や農業倉庫で使われている。工場内での



工場内の見学

作業では機械化が進み、少人数で行われる作業の様子を見学した。会議室で行われた座学では、屋根材の形状や材質の説明を受け、近年の自然災害による屋根の損傷傾向や対策された製品の説明を受けた。次に訪れた音更町のよつば乳業株式会社十勝主管工場では、よつば乳業の成り立ちや製品の製造工程を見学した。リニューアルされた見学スペースは「しあわせファーム」と呼ばれ、緑の中に牛の模様がいくつもあり、酪農家の一日常や牛について知る工夫がされていた。視察終了後は、帯広市内の飲食店にて食事をとり帰町した。



乳牛についての説明

乳牛改良同志会 家族親睦会

12月6日、JA会議室において、会員とその家族及び関係機関合わせて101名が参加する中、家族親睦会を開催した。

雪印メグミルク(株)大樹工場副工場長の澤田竜美氏の乾杯で会食がスタート。ジュニアホルスタインクラブや同志会の1年の歩みをスライドショーで振り返った。

「お楽しみ抽選会」などの余興のほか、毎年恒例の「チャリティーオークション」で盛り上がり、太田専務の万歳で幕を閉じた。



事業承継セミナー

12月3日にJA大会議室において一般社団法人しんきん事業承継支援ネットワーク代表理事・吉川孝税理士事務所所長吉川孝氏を講師に招き、事業承継セミナーを行った。

このセミナーでは、「法人経営と事業承継～経営が目的・法人は手段、株価評価が変わる!」をテーマに事業承継について説明を行い、組合員・関係者合わせて37名が出席した。

事業承継では親子間・世代間のコミュニケーションが重要で、認識の違いや思い込みをなくす大切さについて話があった。



セルフスタンド年末大謝恩祭

JAセルフスタンドでは、12月26日と27日の両日で、「年末大謝恩祭」を行った。

このイベントは今年で12年目を迎え、ガソリン・軽油25ℓ以上の店頭給油で初日に生卵、2日目は年末恒例の切り餅を各500台分用意。また、洗車プリペイドカードが当たるスピードくじチャレンジやポイント10倍も実施した。

両日も寒さが厳しいにも関わらず多くのお客様に利用していただき、販売実績は、1日目の来客台数493台、ガソリン・軽油販売量13.0kl、2日目は来客台数507台、ガソリン・軽油販売量13.2klとなった。



青色申告会 税務研修会

12月9日にJA大会議室において帯広税務署個人課税第1部門阿部義史氏を講師に招き、税務研修会を行った。

この研修会には、「税」の仕組みを知ってもらうために、青年部にも参加を呼び掛け、青色申告会会員・青年部員合わせて19名が参加した。

講師の阿部氏からは、消費税改正や軽減税率制度について説明があり、参加者からは消費税についての質問だけでなく、令和2年分より変更される予定の青色申告特別控除額や基礎控除額などについて活発な質問が出された。



青色申告会

青色申告及び白色申告に係わる指導日程

都合により指導日程・会場が変更になる場合もあります。

月 日	曜 日	内 容	時 間	場 所
2月1日	土			
2月2日	日			
2月3日	月			
2月4日	火	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月5日	水	乳牛市場		
2月6日	木			
2月7日	金			
2月8日	土			
2月9日	日			
2月10日	月	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月11日	火	建国記念日		
2月12日	水	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月13日	木			
2月14日	金			
2月15日	土			
2月16日	日			
2月17日	月	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月18日	火	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月19日	水	乳牛市場		
2月20日	木	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月21日	金	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月22日	土			
2月23日	日	天皇誕生日		
2月24日	月	振替休日		
2月25日	火	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月26日	水			
2月27日	木	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月28日	金	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
2月29日	土			
3月1日	日			
3月2日	月			
3月3日	火			
3月4日	水	乳牛市場		
3月5日	木	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
3月6日	金	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
3月7日	土			
3月8日	日			
3月9日	月	青色、白色指導・受付（消費税）	13：00～15：00	会議室D
3月10日	火	確定申告、消費税 指導・受付最終日	13：00～15：00	会議室D
3月11日	水			
3月12日	木			
3月13日	金			
3月14日	土			
3月15日	日			
3月16日	月	所得税確定申告書 税務署提出予定日		
4月1日	水	消費税確定申告書 税務署提出予定日		

* 消費税の受付・指導は青色申告指導日に並行して行います。

* 指導日以外の相談については、指導員不在のため対応できない場合がありますのでご了承下さい。

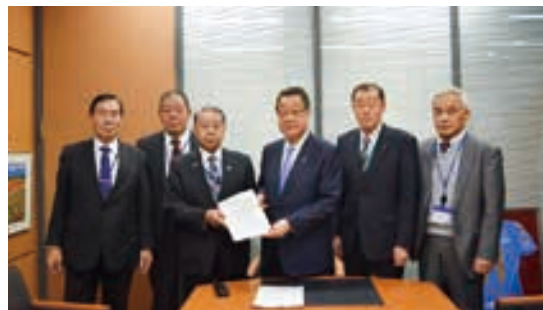


J Aグループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的なT P P等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。

※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す J Aグループ北海道要請団



JA北海道信連



J A北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、J Aグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稻と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA共済連北海道



J A共済連北海道は、11月8日より「J A共済有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプ」のダウンロードを開始しています。J A共済限定 LINE スタンプの提供は、J A共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードする事ができます。



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日から YouTube 上で公開を開始しました。動画の主題歌には横原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・J Aおよび全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JA北海道厚生連



令和元年11月30日(土)遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらい、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思っています。



J Aグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

今日から始める農場のチェックリスト No.7

分娩時の病原体拡散防止のための管理点検

分娩施設の衛生管理レベルの向上は、分娩前後の抵抗力が低下している牛や生まれてくる子牛を病原体から守ることに直結します。農場の現在の管理を点検して、「分娩時の病原体拡散防止」のために対策ができているか○×で確認してみましょう。

○チェックリスト

No.	チェック項目	判定	解 説
1	作業者が使用する衣服を定期的に消毒交換している		糞、鼻水や涎（よだれ）などで汚れた長靴や衣服により、作業者が病原体の伝搬者（キャリア）になる可能性があります。
2	分娩施設に長靴洗浄消毒設備（踏み込み消毒槽等）がある		
3	分娩施設に出入りする際に手指、長靴等の消毒を実施している		
4	牛床は清掃され、乾燥している		栄養たっぷりで適当な水分と温度があると、病原体は猛烈な勢いで増殖します。 分娩施設は使用毎の清掃と消毒が必要です。
5	分娩施設使用後は徹底清掃し、消毒・石灰散布がされている		
6	飼槽、飼槽通路に泥等の汚れがない		多くの伝染病は経口感染します。 直接、口をつける飼槽、水槽は常に衛生的に保つ必要があります。
7	水槽・ウォーターカップは衛生的に管理している		
8	分娩後に産出子牛が放置されることがない		産出後の子牛は抵抗力のない状態で病原体の混じった糞便や汚れに接触する危険性があります。
9	子牛は産出直後にハッチ等へ移出している		
10	犬や猫、ねずみや野鳥を畜舎内に侵入させないようにしている		導入牛、カラスなどの野鳥、野生動物などの糞や足を介して病原体が舎内に入る可能性があります。

○産出子牛の接触リスク

子牛は生まれてから親牛と分離させずにいると、初乳からの免疫獲得までに

①親牛や同居の成牛の乳頭や顔、体、②施設の床面、敷料、壁、柵についた汚れ・病原体が口に入ってしまう可能性があります。

分娩環境を清潔にし、乾燥状態を保つよう心がけましょう。

また、成牛と同じ舎内で飼養した場合は、①飛び散った成牛のふん尿、②作業者が落としたふん尿のカケラについた病原体と接触する可能性があります。



目の前を作業者が歩くと
長靴から落ちた汚れを食べてしまうカモ

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合 JAと農業

監修：JCA 日本協同組合連合機構

くらしと農業の調和「都市農業」

都市農業は新鮮で安全な農産物を供給するだけでなく、災害時の防災空間や農業体験・交流の場の提供などの役割も持っています。人口が集中する都市部で、都市住民に農業を身近に感じてもらい、農業が育んできた歴史・文化に触れてもらうことは、農業への理解の醸成につながると期待されています。また、都市住民の中にも都市農地を残すべきという認識が定着しています。

2015年に「都市農業振興基本法」が成立し、16年5月には「都市農業振興基本計画」が閣議決定され、これまで「宅地化すべきもの」とされていた都市の農地は「あるべきもの」と位置付けられました。JAグループは、直売所の設置促進、学校給食への食材提供、体験型農園の実施、生産緑地制度（農業の継続を条件に税制上の優遇等を受けられる仕組み）の活用などを通じて都市農業の振興を目指しています。

【都市農業】とは（しょうぎょう）

都市農業とは「市街地およびその周辺の地域において行われる農業」と定義されています。都市農地の中核となる市街化区域内の農地面積は、2017年、わが国農地面積の2%に相当する6.9万haにあります。生産緑地地区に指定された農地は1.3万haと一定の面積が維持されています。市民農園の数は、土に触れ、野菜や草花を育てたいという都市住民の需要の高まりを受け、都市的地域を中心に年々増加しています。

都市農業が全国に占める割合

	農家戸数	農地面積	販売金額（推計）
全国	215.5万戸	444.4万ha	5兆8,366億円
市街化区域（対全国比）	22.8万戸（11%）	6.9万ha（2%） うち生産緑地 1.3万ha（0.3%）	4,466億円（8%）

※1. 全国の数値は、「農林業センサス」（2015年）等による。
※2. 都市農業の数値は、「国土調査の部格等の概要調査（2017年）」等を用いた推計による。
農水省資料より作成

都市農業の多様な役割



新鮮な農産物の供給
災害時の防災空間
農業体験・交流活動の場
国土・環境の保全
心やすらぐ緑地空間

都市住民の農業への理解の醸成

農水省資料より作成

新そう、大地と地域の未来。

理事会の動き

第11回 12/20

★報告事項

- 令和元年度畜産基本調査集計（乳牛飼養頭数）について
- 十勝酪農畜産対策協議会第4回全体委員会の報告について

★協議事項

- 農協懇談会の意見集約について
- 第3 対策指導農家等の組勘年未推定について

★付議事項

- 第1号 資産の償却・引当基準の一部改正について

- 11 余裕金の運用状況について
- 12 組合員の異動について

協議

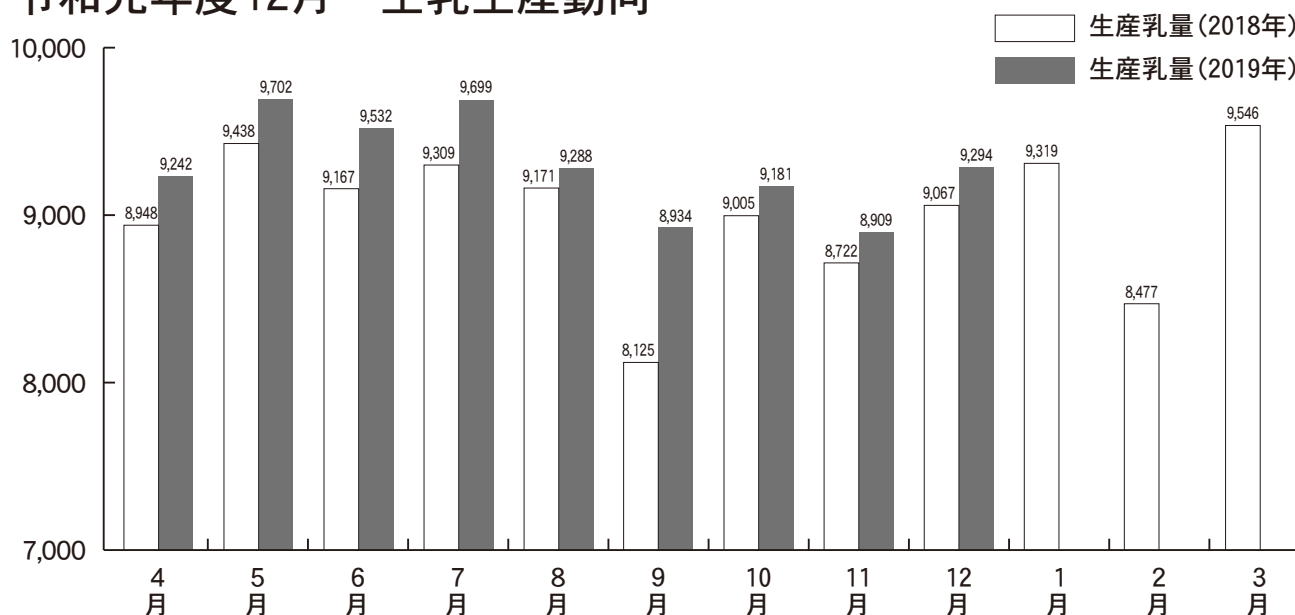
協議

協議・承認

- 10 資金の貸付について
- 9 理事に対する資金の貸付について
- 8 令和元年組合員勘定の推定について
- 7 コントラクター運営委員会の報告について
- 6 令和元年産馬鈴しよでん粉共同計算の精算について
- 5 平成30年産民間流通麦共同計算の精算について
- 4 平成30年産大豆共同計算の精算について
- 3 令和元年産野菜類の精算状況について
- 2 令和元年産馬鈴しよでん粉共同計算の精算について
- 1 平成30年産民間流通麦共同計算の精算について

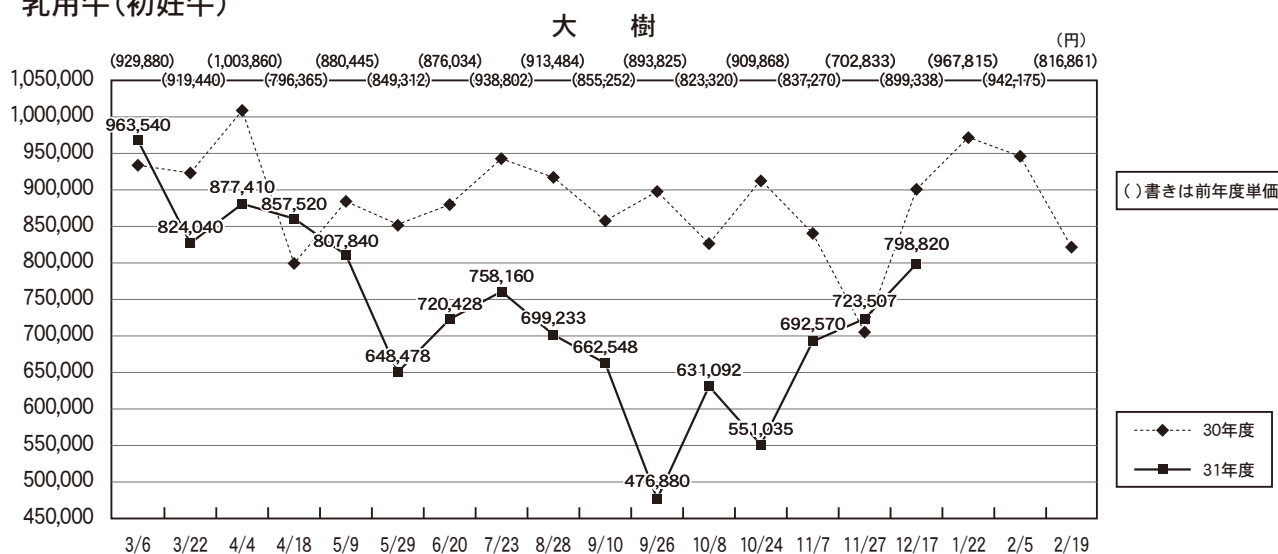


令和元年度12月 生乳生産動向

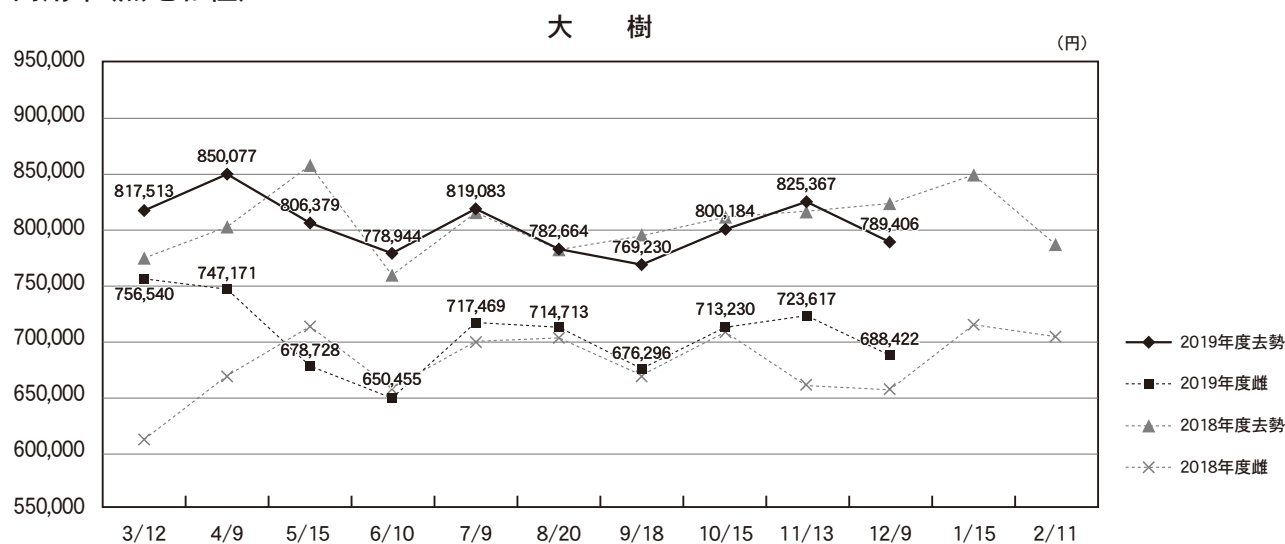


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名に大樹TMOカードが当たる

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

- ① 雲が浮かんだり星が輝いたり
③ 2月23日は——誕生日。国民の祝日です

⑥ 受験生が縁起を担いで食べることもある揚げ物

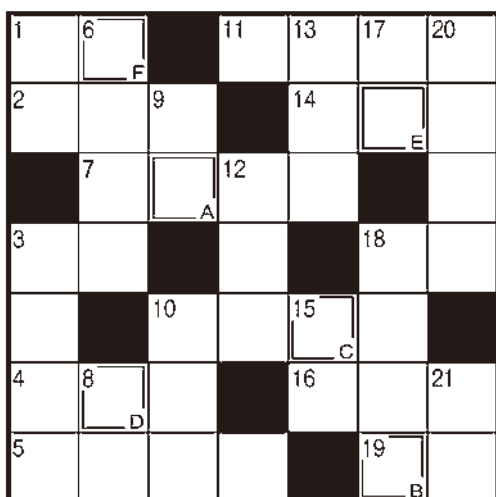
⑧ 人が並ぶとできます

⑨ 港——。城下——。——工場

⑩ 良いだしが出る海藻

⑫ しばしは野党とやり合います

⑬ 2020年は——年。2月が29日まです



⑮ 将棋の盤面に並べる物

⑰ 走り高跳びの選手が跳び越えます

⑱ 読経に合わせてポクポクたたきます

⑳ 縁、結、続に共通の部首

㉑ XとZの間

ヨコのカギ

① 鬼は——、福は内

② 天井とかもいの間に作られます

③ 元素記号はF e。身近な金属です

④ 銭湯へ入るときにくぐることも

⑤ 床側に腹を向けて寝そべります。

——寝

⑦ 自然の美しい風景を表す言葉、——

風月

⑩ ちらしやCMもこの一手法

⑪ 赤い花が咲く梅のこと

⑭ √の記号で表します

⑯ 出発——になって忘れ物に気付いた

⑰ 寺院へ入るときにくぐることも

⑱ 酒を飲むと回る人もいます

1月号の答え

A B C D
エ キ デ ン
でした。

1	ハ	6	ツ	モ	11	ウ	14	デ	19	オ
2	ヤ	マ			12	ナ	カ	16	ミ	セ
	ク		8	フ	ジ			17	カ	チ
3	チ	7	エ	ロ			15	ゲ		ン
4	コ	イ			13	カ	コ			ヨ
5	ト	ジ	9	ブ	タ			18	オ	ウ
	バ		10	キ	ズ	グ	ス			リ

当選おめでとうございます

当 選 者

(振別)	角 倉 七 虹さん	(振別)	瀬 川 勝 子さん	(大光)	鈴 木 恵知子さん	(豊里)	佐 藤 勉さん	(上大樹)	坂 本 松太郎さん	(下大樹)	佐々木 弘 子さん	(東和)	高 場 君 子さん	(萌和)	川 原 薫 枝さん	(開進)	島 田 範 子さん	(美成)	小 島 里 穂さん
------	-----------	------	-----------	------	-----------	------	---------	-------	-----------	-------	-----------	------	-----------	------	-----------	------	-----------	------	-----------

■ 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA↓Fの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り Ⅱ 2月10日(当日消印まで有効)

■ 届 出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。

■ 賞 品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 1月号の応募者は14名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

牛乳パック回収ご協力をお願いについて

(株)協同商事内に設置していた牛乳パック回収箱ですが、閉店に伴い、J A本所・資材事務所に設置することになりました。お願いしたいことは3点！

- ・洗って開いてしっかり乾かすこと！
- ・まとめて縛って入れる！
- ・内側が銀色のものは入れない！

ご協力の程よろしくおねがいします。

不明な点は

J A大樹町 企画管理課 女性部担当まで



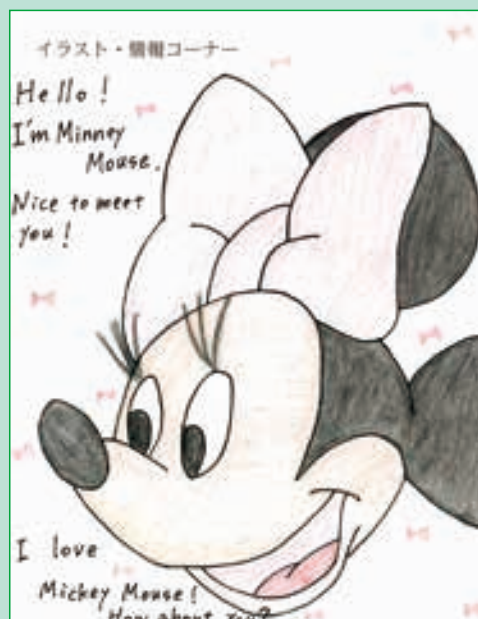
どなたでもお入れ下さい！

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



振別
角倉七虹ちゃん(8歳)



美成
小島里穂さん(14歳)